

先端教育担当

港区中学校海外修学旅行に関する区民アンケートについて

報告内容

令和8年7月10日から同月31日まで、海外修学旅行に関するアンケートを以下の内容で実施します。

1 アンケートの概要

(1) 対象

区民（区内在住）

(2) 期間

令和8年7月10日（金）から同月31日（金）まで

(3) 回答方法

L o G o フォーム（電子申請サービス）を活用し、インターネット環境において実施します。

(4) 周知方法

広報みなとへの掲載（7月15日号掲載）や、区ホームページやLINE、「すぐーる」により送付（区内幼稚園、小・中学校の保護者対象）等を行い、幅広く周知します。

2 アンケートの内容

別紙のとおり

3 今後のスケジュールについて（案）

令和8年5月25日～7月10日	海外修学旅行（前半7校の実施）
6月上旬～ 7月下旬	生徒・保護者・教員アンケート実施
7月10日～7月31日	区民アンケートの実施
8月下旬	教育委員会報告（前半校の実施報告）
9月中旬	教育委員会協議（令和9年度の方向性）
8月31日～9月18日	海外修学旅行（後半3校の実施）
10月中旬	教育委員会審議・報告 （後半校の実施報告と令和9年度の方向性）

海外修学旅行に関する区民アンケート

港区では、令和6年度から英語でのコミュニケーション能力を発揮する場として海外修学旅行を実施し、現地学生との交流や海外の文化等に直接触れることで、英語でのコミュニケーション能力を発揮し、国際理解を深めています。港区においては、英語科国際を始め、異文化体験の授業、海外派遣などを通して、国際人育成の取組を進めており、海外修学旅行はその一環として取り組んでいます。なお、港区が実施する海外での修学旅行については、全国初であり、国内の公立中学校の中で唯一の取組となっています。この特色ある海外修学旅行の開始から3年目を迎えることから、今後の実施方法などを検討しています。

つきましては、方向性を考えるに当たり、区民の皆様の率直なお考えをお伺いしたく、本アンケートを実施いたします。

<港区中学校海外修学旅行の概要>

対象：港区立中学校第3学年の全生徒

実施時期：6月から9月までの期間（3泊5日）※ホテル3泊、機内1泊

旅行先：シンガポール

（※高い安全性から、日系旅行会社の修学旅行取扱人数第一位の方面となります。）

なお、教育委員会では、令和5年度にこれまでの海外派遣の成果を踏まえ、代表生徒以外の多くの生徒に海外での直接体験の機会を設けること、国際人育成に向けた取組を海外で発揮する場を設けることを目的として、海外修学旅行が検討され、公用語が英語であることから英語でのコミュニケーション能力を培うことが可能であり、多文化が共存し、時差が日本より1時間と少なく、細かいルールがあり治安が良い等の観点から、異文化理解と英語コミュニケーションの発揮の良い場となると判断し、シンガポールを選定しています。

<海外修学旅行と国内修学旅行の比較表>

	海外修学旅行 (行先：シンガポール)	国内修学旅行 (行先：広島、京都、奈良で想定)
主なプログラム	異文化理解と、英語でのコミュニケーション能力を発揮できるプログラム	国内の伝統・文化を学ぶことができるプログラム
コスト (海外・国内ともに3泊想定)	委託経費：約4億2千万円 1人当たりの金額：約38万円 (保護者の負担金は一律5万円)	委託経費：約9千万円～1億円※概算 1人当たりの金額：約9万円 (保護者の負担金については、令和4年度までは全額自己負担)
移動時間	約7時間程度 (移動手段：航空機)	約4時間程度 (移動手段：新幹線)

<各校の行程>（中学校の修学旅行の様子動画リンク）

1日目	午前に羽田空港から航空機で、夕方シンガポール着
2日目	現地学生と英語を活用しながら市内を巡る班別散策学習プログラム
3日目	セントーサ島内で環境問題やSDGs等を学習できるプログラム (シンガポールオーシャナリウムのガイドツアーなど)
4日目	探究型のフィールドワーク後、夜に航空機でシンガポール発 (シンガポール国立大学での学生とのディスカッションなどのプログラム)
5日目	朝に羽田空港着、午前中に帰校

<参考1：実際に海外修学旅行に行った生徒、保護者、引率教員の意見>

海外修学旅行では、効果検証として毎年生徒と保護者、引率教員のアンケートをとっております。令和7年度のアンケートの内容については以下のとおりです。

◎生徒のアンケートでは「英語を使って修学旅行中に現地の人とコミュニケーションができたか。」の問いに対する肯定的な回答が約88%となっているほか、「シンガポールは、街並みや自然保護、宗教やたくさんの国籍の人が共存する国で、新しい考え方や異文化交流を通して、世界の広さを感じることができた。」といった意見がありました。

◎保護者のアンケートでは「海外修学旅行は充実した行事になったか。」の問いに対する肯定的な回答が約95%にも及びます。「行く前は従来のもでも良いのでは？と思いましたが、帰国してからの成長ぶりを見ると、より貴重な経験が出来たのだなと感じました。」という意見がある一方で、一部の保護者からは「中学生にふさわしい学習的・文化的な施設や見学先を取り入れていただければ、より意義深い修学旅行になるのではないか」「自分たちで計画、実行、振り返りをしなければ学びや成長は得られない。」といった意見がありました。

◎引率教員のアンケートでは「英語のコミュニケーション力は国内では身につかないものが得られたと思う」という意見がある一方で、「当日を迎えるまでの教員の負担が大きい」や「生活指導が大変である」等の意見もあります。

<参考2：宿泊行事の状況>

港区では各家庭の経済状況にかかわらず児童・生徒が安心して学習できる環境を整備し、宿泊を伴う行事を行っています。現在、中学2年時には、学校ごとに広島・京都／上越／岐阜（郡上市、高山・白川郷）／鳥取／尾瀬などを行き先とした宿泊行事を実施しています。なお、令和8年度からはこれらの移動教室・夏季学園・校外学習の経費は無償化しています。

設 問

①お住まいの地区をお選びください。【1つ選択】

- ☐芝地区（住所に、芝、海岸一丁目、東新橋、新橋、西新橋、三田一～三丁目、浜松町、芝大門、芝公園、虎ノ門、愛宕が含まれる方）
- ☐麻布地区（住所に、東麻布、麻布台、麻布狸穴町、麻布永坂町、麻布十番、南麻布、元麻布、西麻布、六本木が含まれる方）
- ☐赤坂地区（住所に、元赤坂、赤坂、南青山、北青山が含まれる方）
- ☐高輪地区（住所に、三田四～五丁目、高輪、白金、白金台が含まれる方）
- ☐芝浦港南地区（住所に、芝浦、海岸二～三丁目、港南、台場が含まれる方）
- ☐港区以外

②年齢を教えてください。【1つ選択】

- ☐10代以下 ☐10代 ☐20代 ☐30代 ☐40代
- ☐50代 ☐60代 ☐70代 ☐80代 ☐90代以上

③お子さんはいらっしゃいますか？【1つ選択】

- ☐いる ☐いない

④上記③で「いる」と答えた方にお聞きします。お子さんの年代を教えてください。【複数選択可】

- ☐0歳～5歳 ☐6歳～11歳 ☐12歳～15歳
- ☐16歳～18歳 ☐19歳以上

⑤上記③で「いる」と答えた方にお聞きします。お子さんが現在通っている園・学校の種類について以下のAとBの両方を回答してください。お子さんが2名以上の場合はそれぞれお答えください。

A【1つ選択】

- ☐区立 ☐都立 ☐国立 ☐私立 ☐その他

B【1つ選択】

- ☐保育園 ☐幼稚園 ☐小学校 ☐中学校 ☐高等学校
- ☐中等教育学校 ☐大学・大学院 ☐専門学校・各種学校 ☐インターナショナルスクール
- ☐フリースクール ☐その他

⑥区では真の国際人として活躍できる人材の育成を目的に国際理解教育を進めています。

国際人の育成に海外修学旅行は効果的な取組だと思いますか？【1つ選択】

※真の国際人…自らの考えを積極的に発信するため、英語などの語学はもとより表情や振る舞いもコミュニケーションの手段として活用しながら、自国や他国の伝統や文化を理解し、国内においても国際的な視野を持ち、広く国際社会で活躍できる人材

- ☐思う
- ☐どちらかといえば思う
- ☐どちらでもない
- ☐どちらかといえば思わない
- ☐思わない

⑦上記⑥の選択理由を教えてください。【自由記述】

⑧中学生に修学旅行を通して経験してほしいことはなんですか？【複数選択可】

- ☐多様な人や環境とのふれあいをおとした体験学習
- ☐歴史・文化（伝統）の学習
- ☐集団宿泊行事をおとした楽しい思い出作り
- ☐公共交通機関等を利用した自主的な活動
- ☐その他

その他の自由記述

⑨上記⑧の選択理由を教えてください。【自由記述】

⑩中学生にとって深い学びにつながる修学旅行の方面はどこだと思いますか？【複数選択可】

※海外の行き先の選択肢については、令和5年度に目的の実現性、時差・飛行機の移動時間、コスト、治安面を考慮した観点でシンガポールを選定しています。

- ☐シンガポール（現行の修学旅行の行き先、令和6年度以降に実施）
- ☐シンガポール以外のアジア圏（英語が公用語）
- ☐国内（令和6年度以前に実施）
- ☐その他

その他の自由記述

⑪上記⑩の選択理由を教えてください。【自由記述】

⑫今後、海外で修学旅行を継続することの考えを教えてください。

- ☐ 海外修学旅行を継続した方がよい
- ☐ 海外修学旅行は見直して、国内修学旅行にした方がよい（令和5年度以前に戻す）

⑬上記⑫の選択理由を教えてください。【自由記述】

⑭区では各家庭の経済状況にかかわらず児童・生徒が安心して学習できる環境を整備しており、令和8年度からは移動教室、夏季学園、校外学習の経費は公費負担し無償化しています。現在、修学旅行について、保護者の費用負担は交通費・食費・宿泊費の一部として一律50,000円の負担としていますが、今後、海外修学旅行を継続した場合、修学旅行で保護者負担金として家庭が負担できる金額はどのくらいだと思いますか？（なお、就学援助世帯は免除としています。）【1つ選択】

- ☐ 100,000円以上
- ☐ 50,000円以上100,000円未満
- ☐ 30,000円以上50,000円未満
- ☐ 30,000円未満
- ☐ 0円（無償）